

第3学年 道徳科（人権）学習指導案

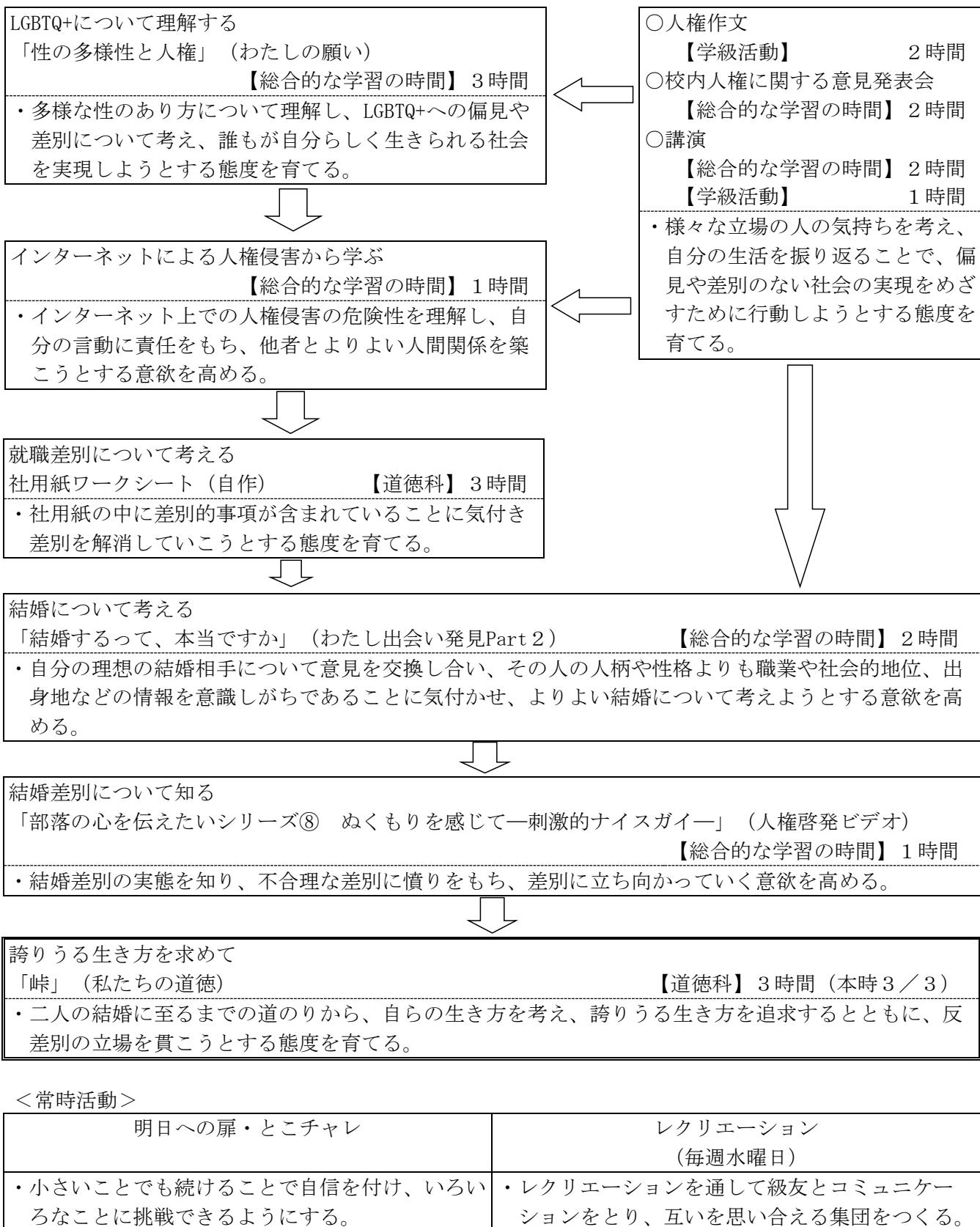
1 主題 誇りうる生き方を求めて

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

同和問題を自分自身の問題として捉え、誇りうる生き方を求めて仲間と共に部落差別をはじめ様々な差別を解消していこうとする態度を育てる。

4 指導計画



5 本時の学習

(1) 目標

結婚差別を乗り越えた二人と両親の生き方を通して、自らの心の中にある差別意識と向き合い、仲間と支え合い、部落差別をはじめ様々な差別をなくしていくこうとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	C - (11) 公正、公平、社会正義
-------------	---------------------

(2) 普遍的な学習のテーマ 法の下の平等

個別人権課題名 同和問題

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 前時の学習を振り返る。	○恵子さんの両親の気持ちがなぜ変わっていったのかについて確認させる。
2 それぞれの「かげ」におびえた経験について意見を共有し、自分自身を振り返る。	○自分自身の「かげ」におびえた経験について事前に考えさせておく。 ○一人一台端末を用いて、できるだけ多くの生徒の意見を共有させ、自分の中の差別意識と向き合わせる。 ①
自分自身を誇れる生き方とは、どのような生き方だろうか。	
3 自分自身を誇れる生き方について、具体的に考える。 ・個人で考えたことを、班で共有する。 ・班で共有したことを踏まえて、自分自身の誇れる生き方について発表する。	○恵子さんや幸司さん、恵子さんの両親の生き方を通して学んだことから「自分自身を誇れる生き方」について自分の言葉で表現させる。 ②
4 今後、様々な差別をなくしていくためには、どのような行動をすればよいかについて考え、発表する。	○普段の生活や3年間の学習を振り返り、差別解消に向けた具体的な行動について考えさせる。 ①②

(4) 評価

- ・自分の中の差別意識と向き合い、仲間と共に差別をなくしていくこうとする意欲を高めることができたか。 (価値的・態度的側面) ①
- ・仲間の考えや思いを受けとめ、自分の考えや思いを表現することができたか。 (技能的側面) ②